

# ICMIF会員団体：主要統計レポート 2023

ICMIF会員団体の概要（2023年）

# ICMIF会員団体：主要統計レポート 2023

本報告書は、国際協同組合保険連合(ICMIF)による年次の「ICMIF会員団体：主要統計レポート」の最新版であり、協同組合／相互扶助の保険組織および関連団体の世界的ネットワークであるICMIFの、2023年現在における会員団体の概要をまとめた報告書です。

本報告書では、ICMIF会員207団体<sup>1</sup>の財務および非財務分析を行っています。その主な内容は、ICMIF会員団体全体の2022年度における財務実績の概要、収入保険料ベースで上位の会員団体リスト、および会員の所在地、法的構造、所属グループの内訳などです。

本報告書の財務分析の一部では、比較のため2007年度から2022年度までの15年間の統計を掲示しています<sup>2</sup>。その場合、過年度の合計値は会員団体の異動を加味して更新されており、本報告書の過去版の掲載データに修正がある場合はその旨注記いたします。

<sup>1</sup>ICMIF会員団体の総数および関連分析は2023年10月31日現在。

<sup>2</sup>過年度についてはすべて、別段の記載のない限り一定の為替レート(2022年12月31日のレート)を使用しており、誤解を招く恐れのある為替レートの変動の影響を排除し、正確な対前年比較を可能にしている。

# 2022年度のICMIF会員団体

**2,360億米ドル**

保険料収入



**1,020億米ドル**

生命保険事業



**1,340億米ドル**

損害保険事業



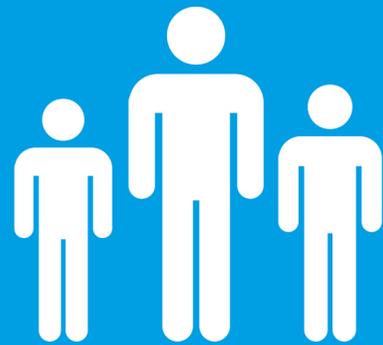
**1.7兆 米ドル**

総資産



**230,596人**

雇用者数



**321,214,617人**

会員／契約者数



ICMIF会員団体の雇用者数増加率

**19% 2013年度\*比**

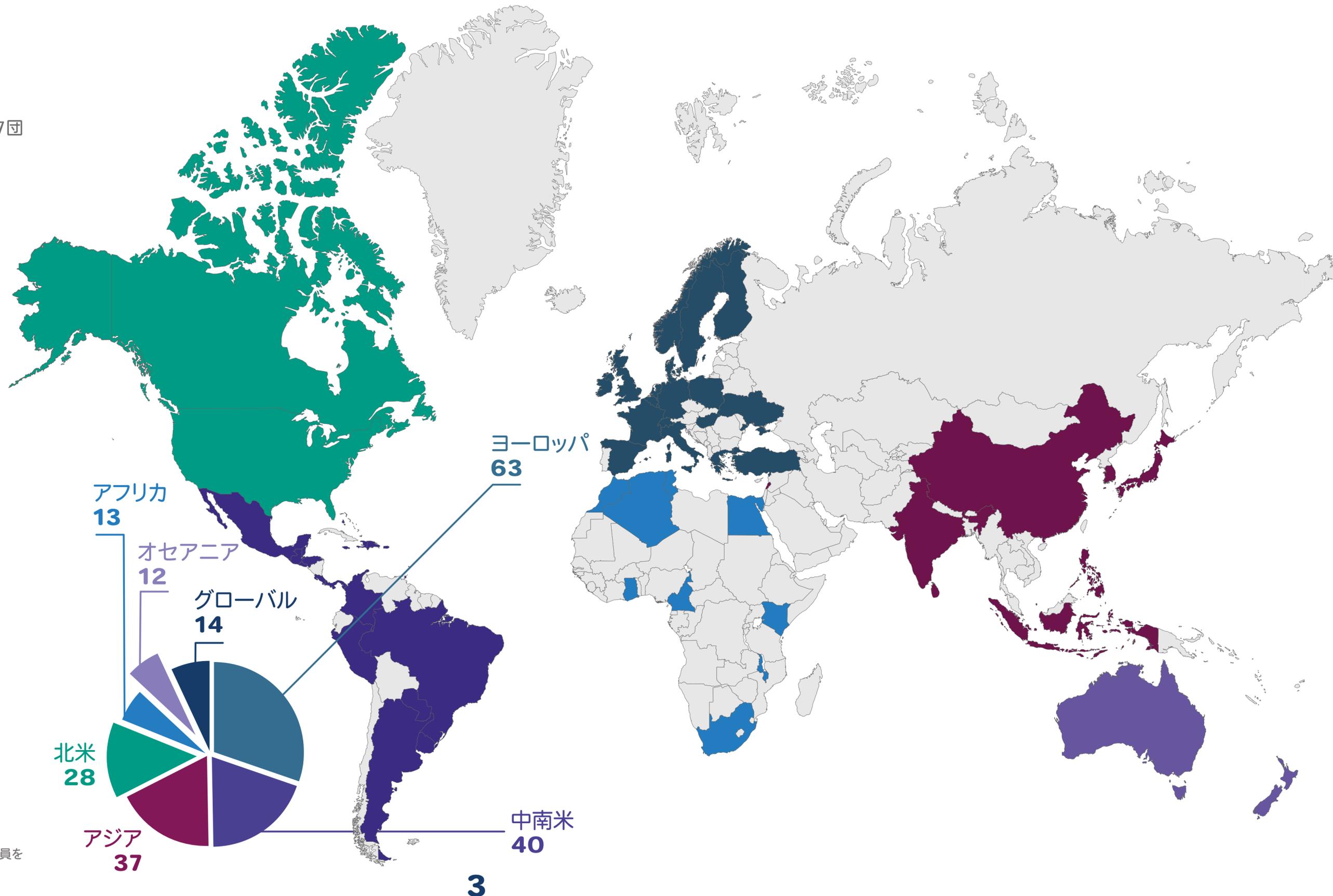
\* 雇用データが入手可能な最初の年度

# 世界的な会員団体のネットワーク

ICMIFは世界の6地域、60か国の会員207団体で構成されています<sup>3</sup>。

ICMIF会員団体の30%(63団体)がヨーロッパ、19%(40団体)が中南米・カリブ海地域、18%(37団体)がアジア、そして14%(28団体)が北米を拠点としています。

残る19%は、グローバルに活動する会員14団体<sup>4</sup>に加え、アフリカ(13団体)、オセアニア(12団体)の各地域を拠点とする会員団体です。



<sup>3</sup>2023年10月31日現在。

<sup>4</sup>オブザーバー会員である各種の世界的な協会および協賛会員を含む。

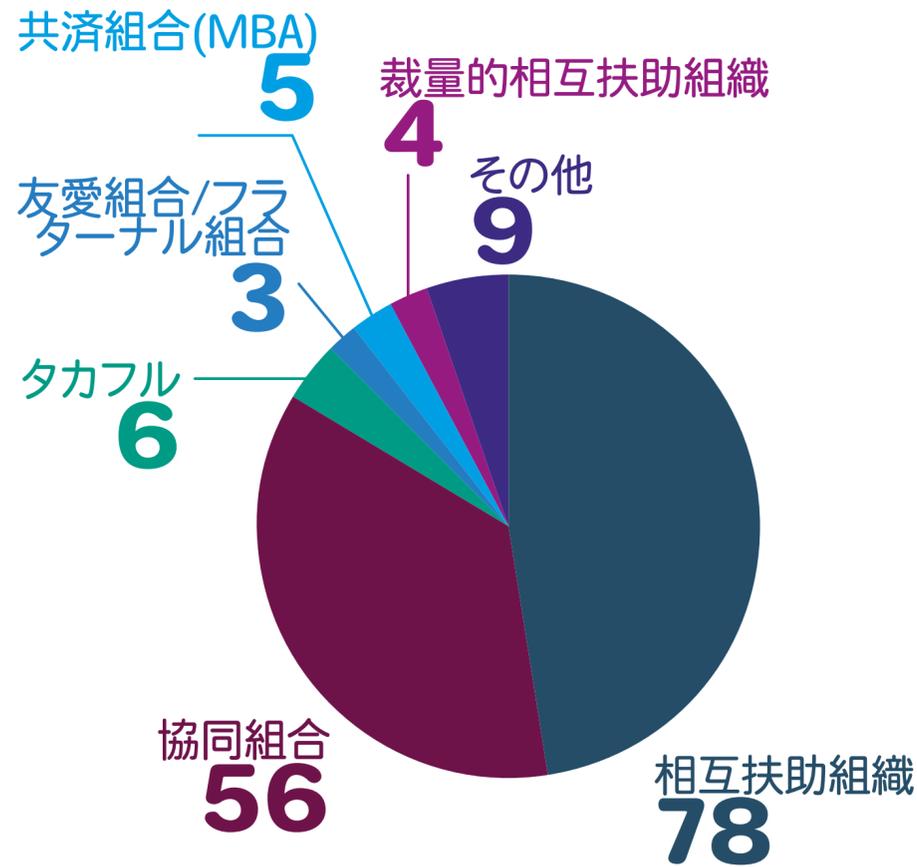
# 会員団体の種類

保険事業を実施する161のICMIF会員団体<sup>5</sup>の大多数(83%)が協同組合または相互扶助の保険組織です。内訳は、48%(78団体)が相互扶助の保険組織、35%(56団体)が協同組合の保険組織です<sup>6</sup>。

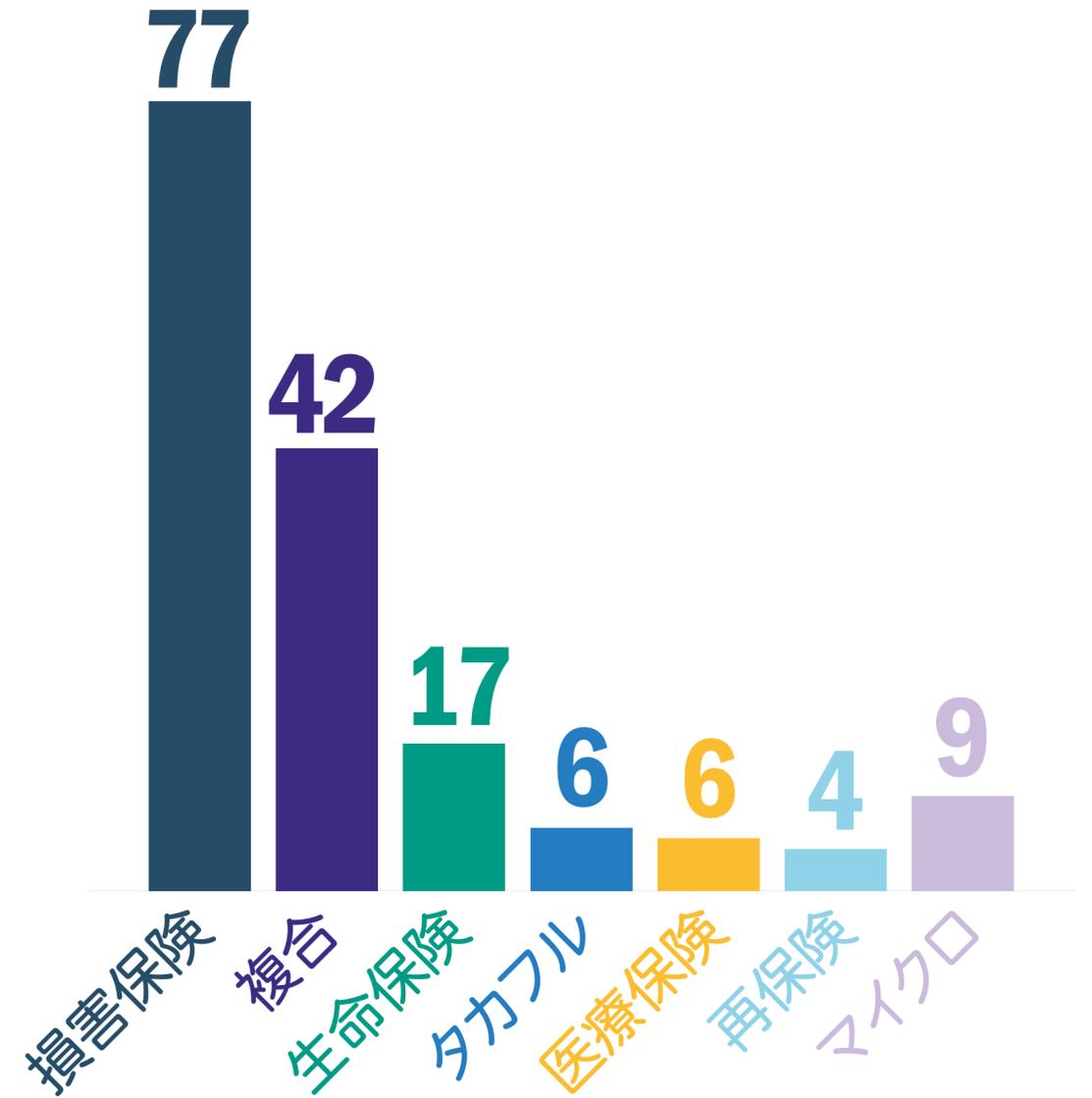
他の組織形態をとるICMIF会員団体には、非営利保険組織、タカフル保険組織、友愛組合またはフラターナル組合、共済組合(MBA)、裁量的相互扶助組織、レシプロカル・エクステンジなどがあります。

取り扱う保険の種類別では、会員団体の48%が損害保険組織、11%が生命保険組織です。さらに、26%(42団体)が複合保険組織です。それ以外の会員団体は、医療保険組織、再保険組織、タカフルまたはマイクロインシュランス組織に分類されます<sup>7</sup>。

## ICMIF会員団体の組織形態



## ICMIF会員団体の保険事業種目別内訳



<sup>5</sup>この数値には正会員団体(協同組合/相互扶助の保険組織)および保険リスクを引き受けている准会員団体(タカフル準会員やマイクロインシュランス組織など)が含まれる。残る46のICMIF会員団体(各種協会、開発・教育機関、非営利の保険機関、その他の協同組合/相互扶助組織、および協賛会員など)は、その他の准会員またはオブザーバー会員である。

<sup>6</sup>(法的形式を備えた)相互扶助の保険組織と協同組合の保険組織の両方が含まれる。また、協同組合/相互扶助組織が親会社または持株会社である、株式会社形態の保険組織も含まれる

<sup>7</sup>医療保険組織または再保険組織に分類される一部の保険組織では、一定額の生命保険あるいは損害保険を(直接に)販売していることにも注意が必要。同様に、生命保険組織、損害保険組織、または複合保険組織に分類されていても、既に一定額の医療保険および(受)再保険のビジネスを計上している可能性もある。

# 会員団体の所属グループ

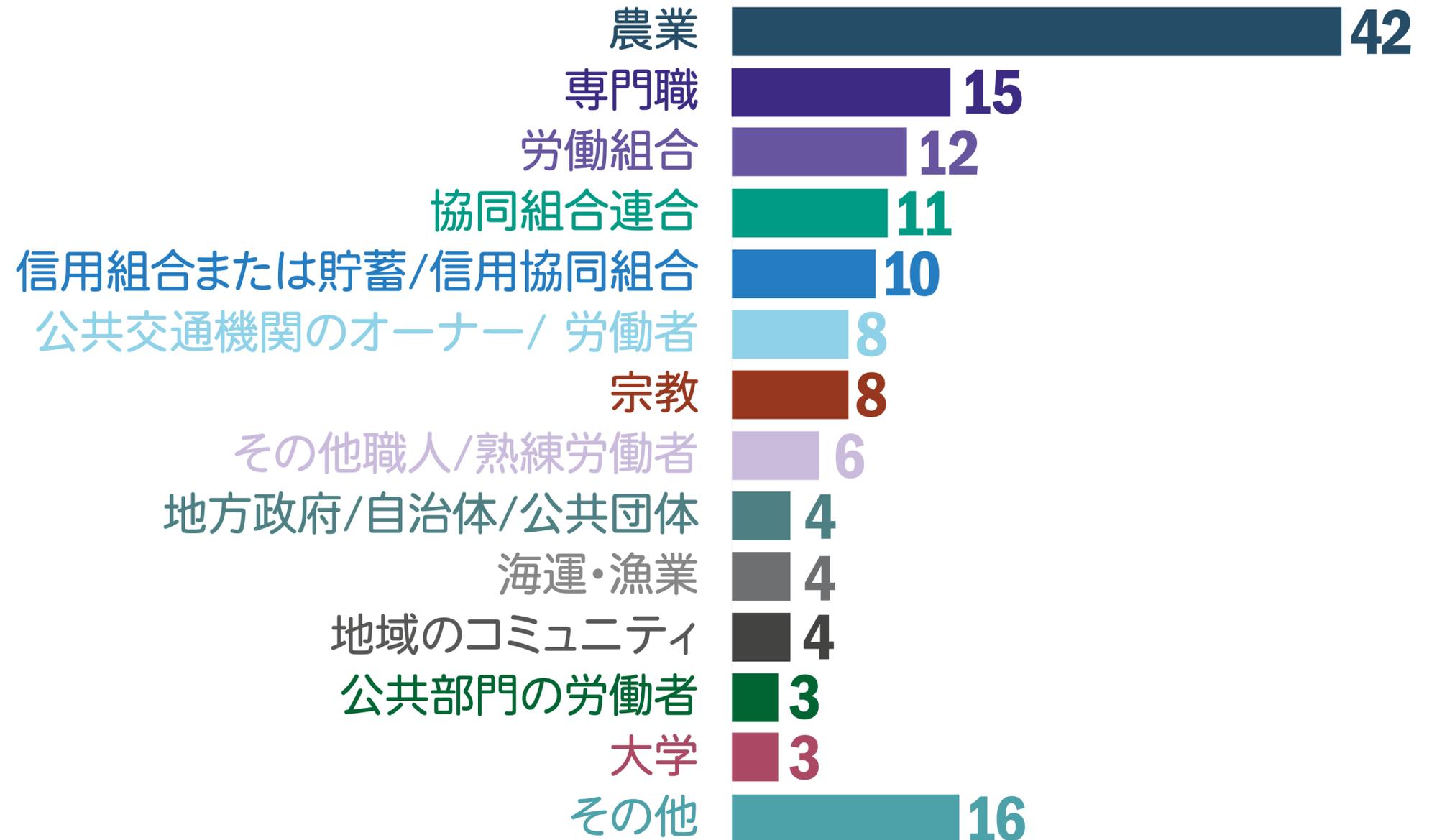
ICMIF会員団体<sup>8</sup>の91%弱(146団体)には明確な所属グループがあります。ICMIF会員団体には、合計38を超えるさまざまな所属グループまたは共通の会員グループが存在します。会員団体で最も一般的な所属グループは農業で、42団体がこのカテゴリーに属します。

21の会員団体が、幅広い協同組合運動と密接に結びついており、そのうち10団体は信用組合や貯蓄協同組合に、残る11団体がその他の協同組合連合または協会に属しています。

専門職(弁護士、医師、教員、学卒者など)のグループに属しているのは15団体です。労働組合、公共交通部門の労働者またはオーナーのグループはそれに次いで一般的な所属グループであり、それぞれ12団体と8団体が該当しています。

<sup>8</sup>保険事業を実施するICMIF会員団体を指す。それ以外の15団体は、(現在または歴史的に)明確な所属グループが存在しなかったか、あるいはサービスを提供する(または設立の際に本来のサービス提供対象だった)会員や顧客の共通グループが存在しなかった。

# ICMIF会員団体の所属グループ



# 保険料収入

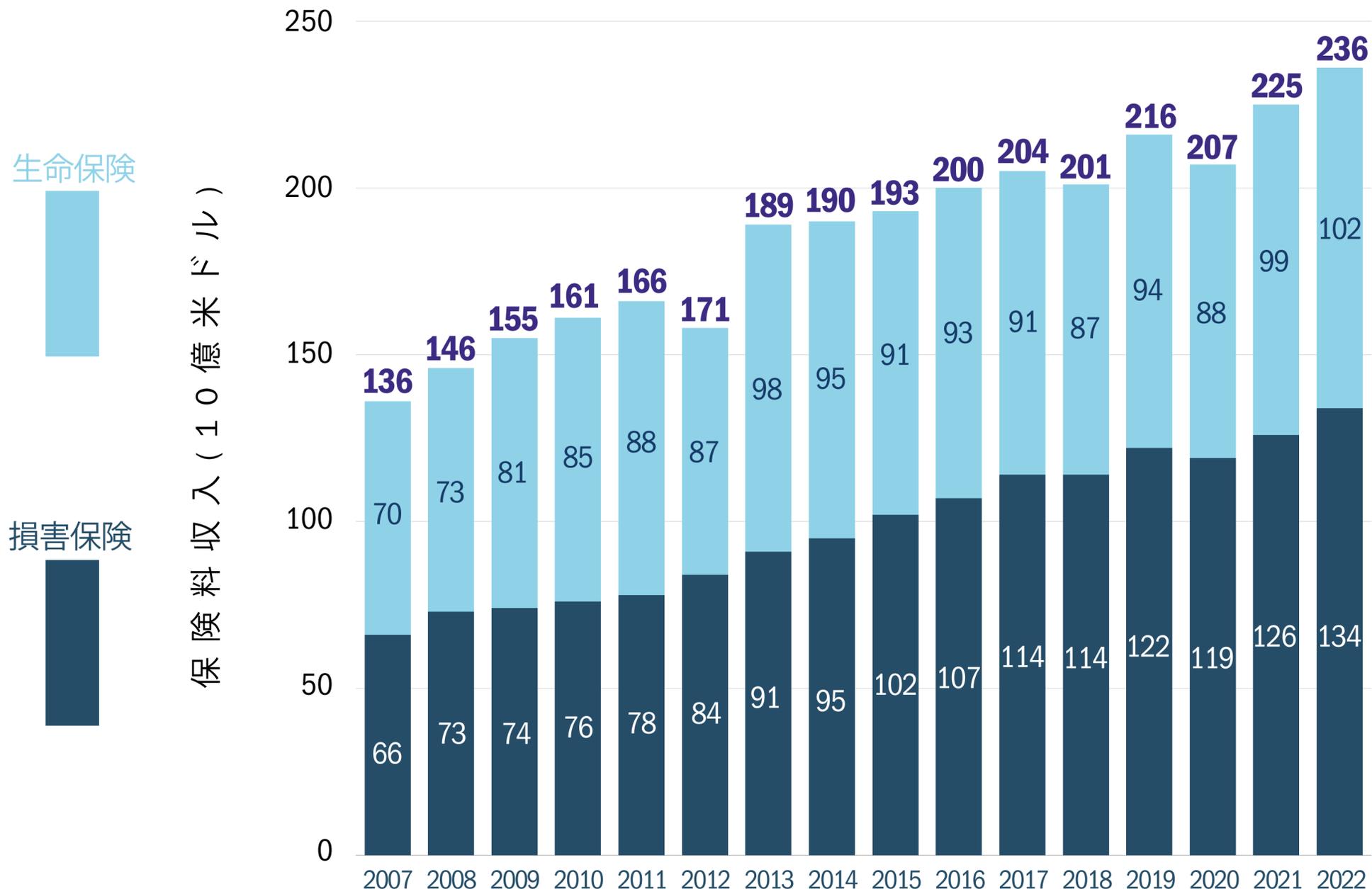
2022年度のICMIF会員団体の保険料収入は合計2,359億米ドルであり、そのうち43%（約1,020億米ドル）が生命保険、57%（約1,340億米ドル）が損害保険の収入でした。

2022年度における全会員団体の保険料収入のうち、56%（1,331億米ドル）をヨーロッパが占めました。アジアは24%（571億米ドル）、北米は16%（372億米ドル）をそれぞれ計上しました。

ICMIF会員団体の保険料収入合計は、過去15年のうち13年で増加しています<sup>9</sup>。

ICMIF会員団体の地域別総収入 保険料(米ドル)2022年度	
ヨーロッパ	133.1 billion
アジア	57.1 billion
北米	37.2 billion
中南米	5.8 billion
オセアニア	1.4 billion
アフリカ	1.4 billion
<b>全体</b>	<b>235.9 billion</b>

# 会員団体の保険料収入合計



<sup>9</sup>過年度についてはすべて、別段の記載のない限り一定の為替レート(2022年12月31日のレート)を使用しており、誤解を招く恐れのある為替レートの変動の影響を排除し、正確な対前年比較を可能にしている。

# ICMIF会員団体の保険事業の種類

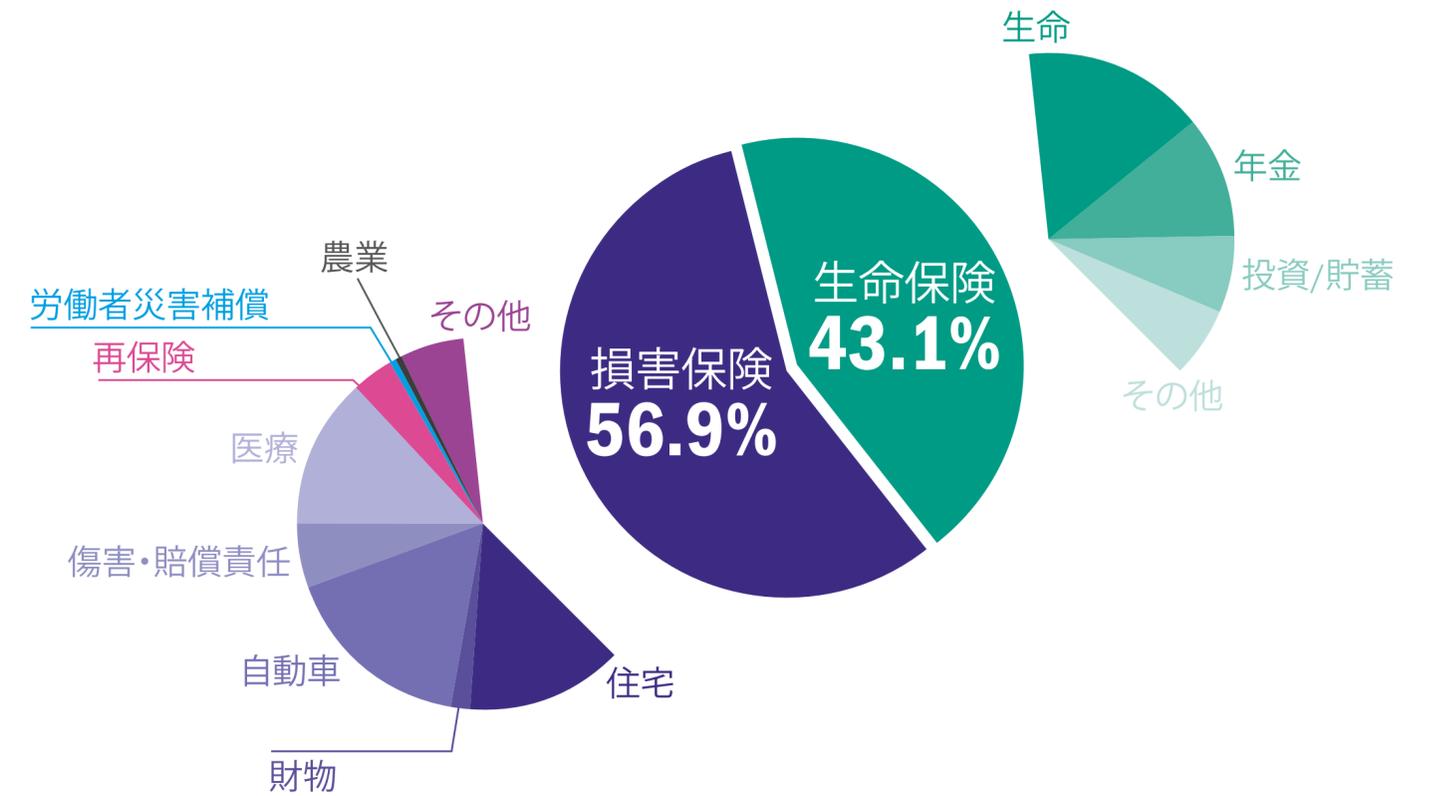
2022年度、9年連続で損害保険事業がICMIF会員団体の保険料収入の過半(57%)を占めました。

ICMIF会員団体の損害保険料のうち最も大きな部分は自動車保険で、27%(2017年度<sup>10</sup>:28%)でした。次いで医療保険が22%(2017年度:19%)となっています。住宅および財物保険は、会員団体の損害保険事業に占める割合が2022年度に25%となり、2017年の32%から減少しました。

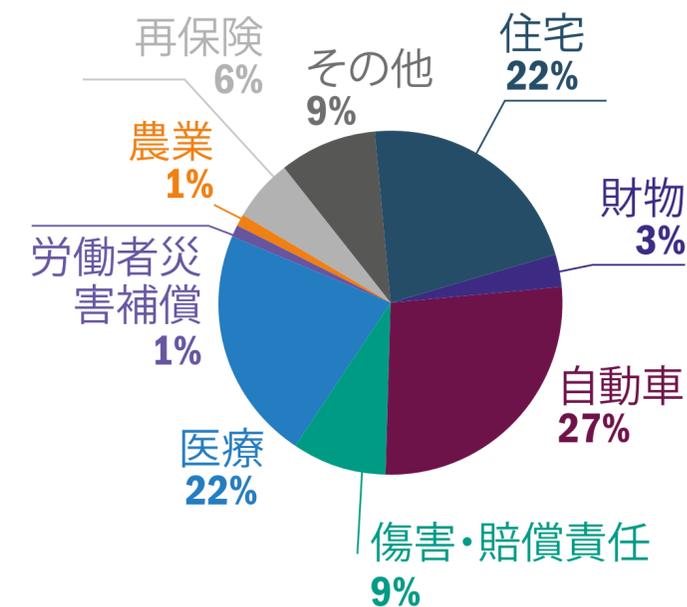
損害保険事業の保険料のうち、9%が傷害・賠償責任保険(2017年度:10%)でした。また、6%が再保険料(2017年度:5%)となっています。残る11%は、海上・航空・運送保険などのその他の損害保険商品からの保険料です。

2022年度、生命保険事業はICMIF会員団体の保険料収入の43%を占めました。

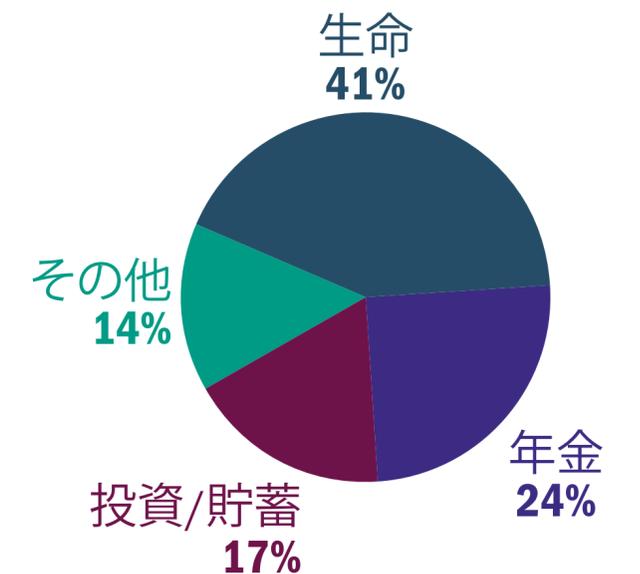
従来型の生命保険(または保障)は、2017年度には会員団体の生命保険料収入の57%でしたが、2022年度には41%と減少しました。年金商品は、2022年度に会員団体の生命保険料収入の27%で、2017年度の16%から増加しました。投資・貯蓄商品が生命保険事業に占める割合は、2022年度は17%(2017年度:17%)でした。また、残る14%は所得補償商品などのその他の生命保険商品からのものです。



損害保険事業の種目別内訳



生命保険事業の種目別内訳



<sup>10</sup> 包括的な商品種類分析が直近で行われた年度。

## 損害保険料収入の地域別内訳

自動車保険は、アフリカ(34%)とオセアニア(53%)の会員団体にとって最大の損害保険事業種目でした。財物保険はアジアの会員団体にとって圧倒的に主要な事業種目であり、損害保険料収入の64%(2017年:72%)を占めています。医療保険はヨーロッパと中南米で最も普及しており、構成比はそれぞれ30%と44%でした。

農業保険の保険料収入の構成比が最も高かったのはオセアニアの会員団体(24%)でした。北米の会員団体は、受再保険料の構成比が損害保険ポートフォリオの15%と最も高率でした。

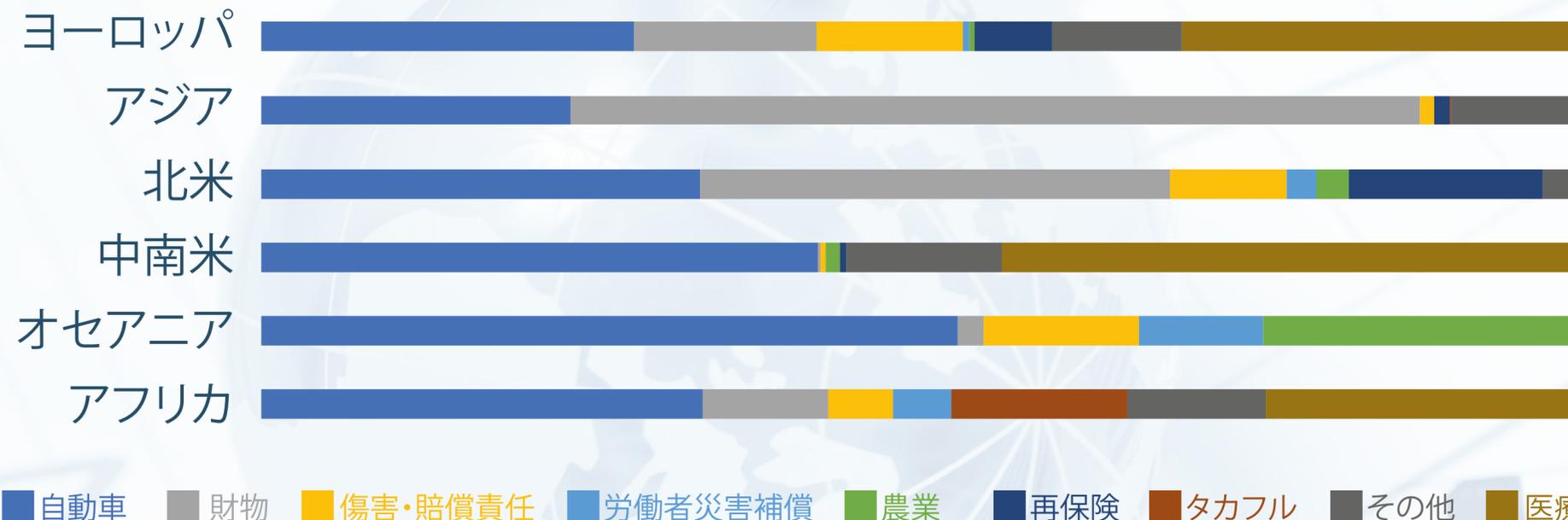
## 生命保険料収入の地域別内訳

従来型の生命保険は、2022年も引き続きすべての地域<sup>11</sup>で会員団体の最も主要な生命保険の種目でした。アフリカでは会員団体が販売した生命保険の97%超、中南米では80%超が従来型の生命保険でした。また、アジア(56%)、ヨーロッパ(30%)、北米(37%)の会員団体にとっても最大の生命保険の種目でした。

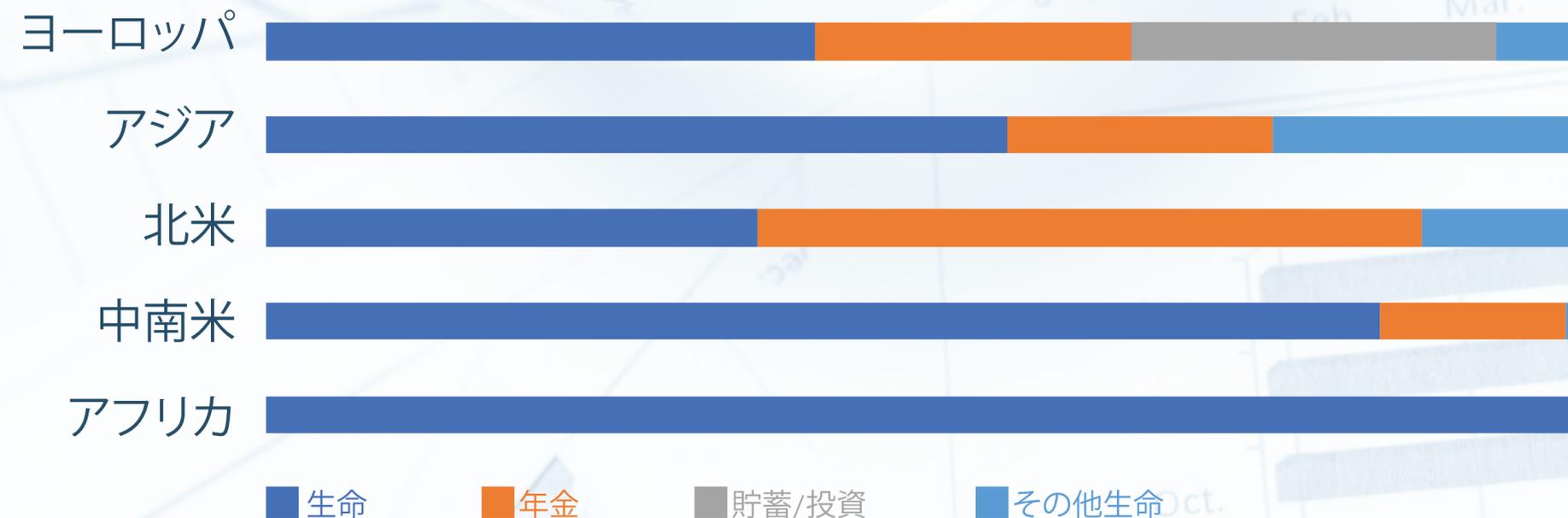
年金商品は、北米の会員団体で最も普及(50%)しています。次いで、ヨーロッパ(28%)、アジア(20%)と続きますが、その構成比は北米より比較的低位です。投資・貯蓄商品および医療保険は、主にヨーロッパの会員団体の比率が33%と高くなっています。なお、他の地域ではこれらの商品はほとんど取り扱われていません。その他生命保険商品は、アジアの会員団体で生命保険ポートフォリオの25%を占めましたが、他の地域での寄与度は大きくありません。

<sup>11</sup> オセアニアのICMIF会員11団体のうち1団体しか生命保険事業を実施していないため、オセアニアはこの分析に含まれません。

## 損害保険・地域別内訳



## 生命保険・地域別内訳



## 保険料収入の前年比成長率

2022年度において、ICMIF会員団体の保険料収入の前年比成長率は4.8%でした。また、生命保険事業は2.3%、損害保険事業は6.8%の伸びでした。

ただし、実際の米ドルベース(過年度の換算に同一の為替レートを使用しなかった場合)で見ると、ICMIF会員団体の保険料収入は2022年度に7.1%減少しました。これは、米ドルが他のほぼすべての主要通貨に対して数十年來の高値水準まで上昇した<sup>12</sup>ためです。会員団体の保険料収入は、その約95%が米ドル以外の通貨です。このため、米ドル高の影響は、会員団体全体の保険料収入金額を決定する際に顕著に現れました。

ICMIF会員団体の多く(59%)は、2022年度に各々の自国市場の前年比成長率を上回りました。

## 長期的な保険料収入の成長率

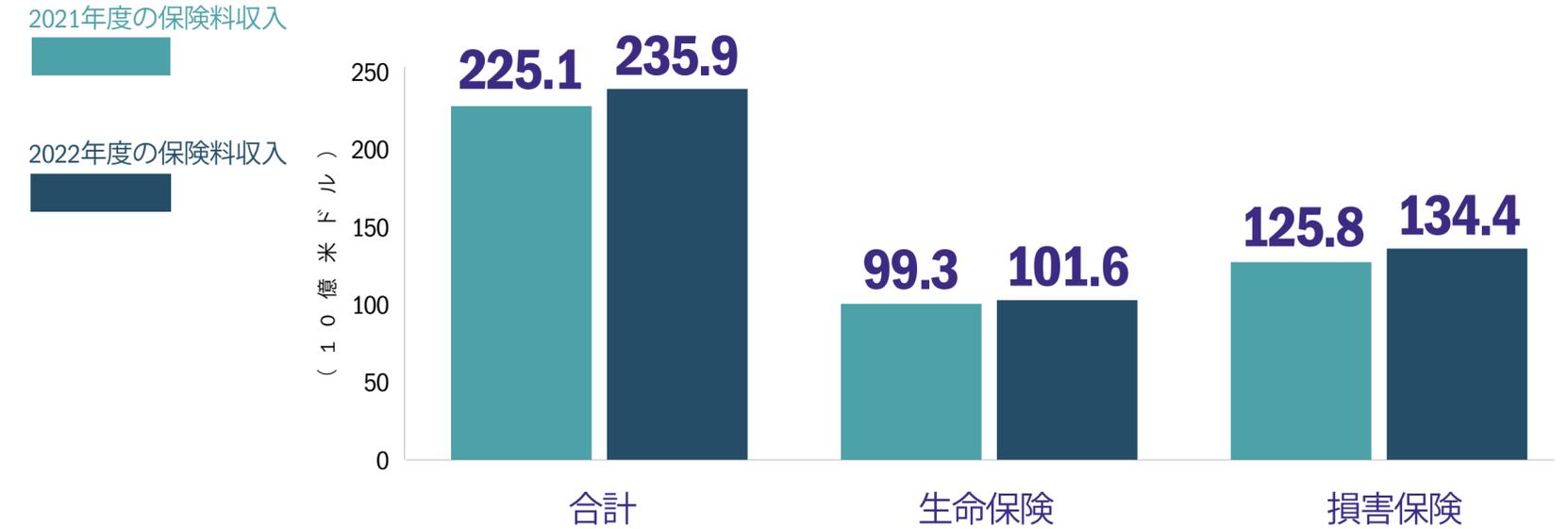
ICMIF会員団体の保険料収入合計は、2012年度の1,710億米ドルから、2022年度には2,360億米ドルへと、過去10年間で37.6%増加しました<sup>13</sup>。

生命保険事業では会員団体の保険料収入が2012年度から16.7%増加した一方、損害保険料は2012年度から59.1%の増加となりました。

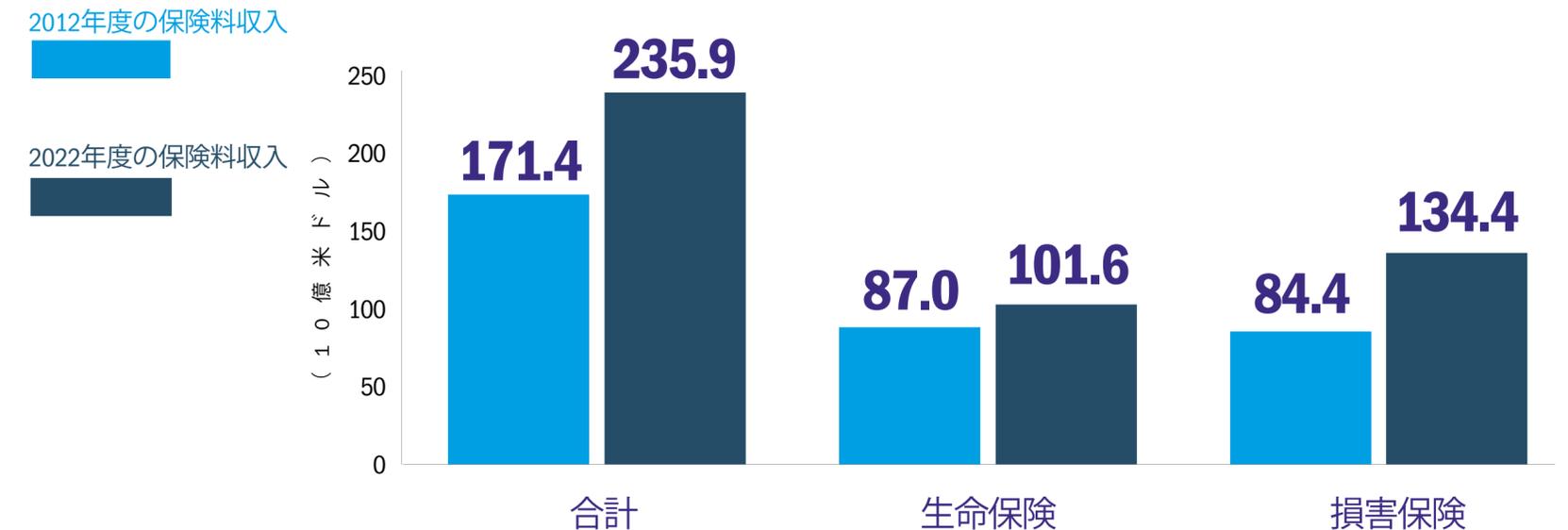
<sup>12</sup> JPモルガン「通貨のボラティリティ:強い米ドルは戻るか?(Currency Volatility: Will a Strong US Dollar Return?)」(2023年2月)

<sup>13</sup> 過年度についてはすべて、別段の記載のない限り一定の為替レート(2022年12月31日のレート)を使用しており、誤解を招く恐れのある為替レートの変動の影響を排除し、正確な対前年比較を可能にしている。

## 保険料収入の1年間の伸び(2021年~2022年)



## 保険料収入の10年間の伸び(2012年~2022年)



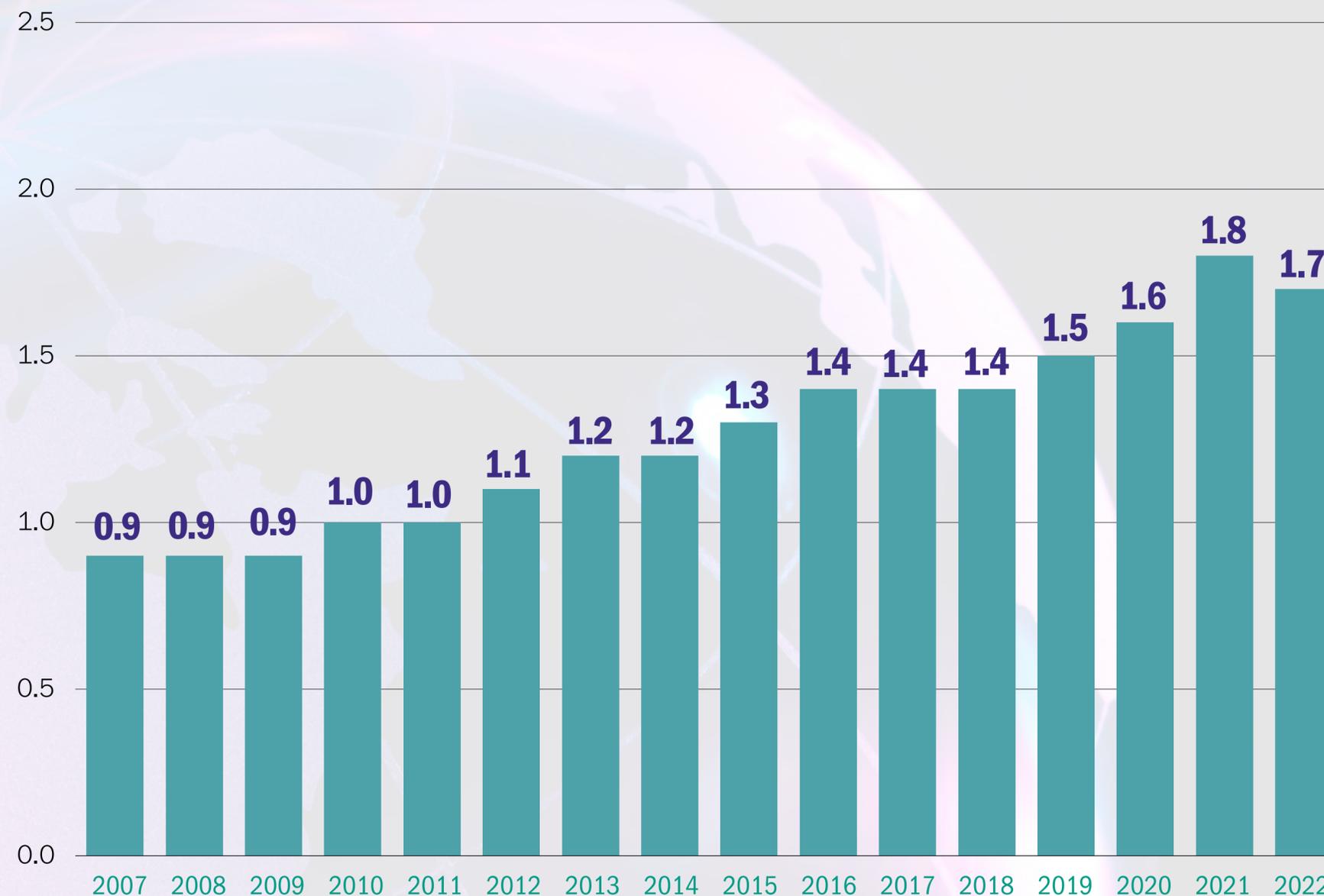
# ICMIF会員団体の保有資産

ICMIF会員団体の保有資産合計額は2008年度から2021年度まで毎年増加してきましたが、2022年度は5.4%減少の1.7兆米ドルとなりました。これは、激動の年だった2022年を通じて歴史的に困難な市場環境だったことを示しています。

保有資産規模で上位5位の会員団体が、2022年度における会員団体の資産合計額の56.2%(2021年度:55.7%)を占めています。一方、保険料収入で上位5位の会員団体が、2022年度における会員団体の保険料収入合計額の46.8%(2021年度:47.6%)を占めています。

ICMIF会員団体の資産、特に持続可能な投資枠組みに沿った資産の詳細は、最近発行された「[ICMIF会員団体の持続可能な投資に関するレポート 2023年](#)」をご覧ください。

保有資産合計額 (兆米ドル)



# ICMIF会員団体・総保険料収入トップ50(2022年度)

	会員団体名	国名	保険料収入(千米ドル)
1	JA共済連	日本	37,098,299
2	Achmea	オランダ	22,215,793
3	R+V	ドイツ	19,665,318
4	Aéma Groupe	フランス	16,993,667
5	Gruppo Unipol	イタリア	14,374,739
6	Royal London	英国	13,269,591
7	Desjardins	カナダ	9,647,178
8	HUK Coburg	ドイツ	8,961,626
9	Beneva	カナダ	5,330,992
10	Thrivent	米国	5,256,000
11	Folksam	スウェーデン	5,007,323
12	La Mobilière	スイス	4,755,134
13	DEVK	ドイツ	4,414,057
14	Co-operators	カナダ	4,251,355
15	MAIF	フランス	4,233,459
16	こくみん共済 coop	日本	4,064,231
17	Nonghyup Life	韓国	3,933,053
18	INCOME	シンガポール	3,339,935 <sup>14</sup>
19	Nonghyup Property & Casualty	韓国	3,254,428
20	Länsförsäkringar	スウェーデン	3,238,654
21	Wawanesa	カナダ	3,200,958
22	NFU Mutual	英国	2,714,544
23	Shelter Mutual Insurance Company	米国	2,454,924
24	EMC Insurance Companies	米国	2,250,135
25	P&V	ベルギー	1,997,742

	会員団体名	国名	保険料収入(千米ドル)
26	LocalTapiola	フィンランド	1,856,471
27	AmericanAg	米国	1,555,949
28	コープ共済連	日本	1,521,460
29	Grupo Sancor Seguros	アルゼンチン	1,452,634
30	Anadolu Sigorta	トルコ	1,433,449
31	Vaudoise Assurances	スイス	1,370,920
32	LV=	英国	1,309,019
33	共栄火災	日本	1,254,701
34	IFFCO-TOKIO	インド	1,051,836
35	Seguros Unimed	ブラジル	928,918
36	Grupo Asegurador La Segunda	アルゼンチン	838,962
37	Promutuel	カナダ	816,607
38	San Cristóbal Seguros	アルゼンチン	787,206
39	Ecclesiastical	英国	691,072
40	Univé	オランダ	623,855
41	RAC WA	オーストラリア	620,717
42	NACUFOK	韓国	618,573
43	Gore Mutual Insurance	カナダ	513,730
44	Sygeforsikring "danmark"	デンマーク	507,758
45	Fédérale Assurance	ベルギー	501,743
46	LB Group	デンマーク	454,156
47	Seguros Rivadavia	アルゼンチン	444,713
48	GF Forsikring	デンマーク	410,382
49	Pennsylvania Lumbermens Mutual	米国	374,800
50	PPS	南アフリカ	366,790

<sup>14</sup> 2021年度の数値。

# ICMIF会員団体:主要統計レポート 2023

ICMIFリサーチチーム:

プロジェクト・マネージャー兼主執筆者:ニック・ドワイヤー(リサーチ・アナリスト)

プロジェクト・スーパーバイザー:ベン・テルファー(会員担当シニア・バイスプレジデント)

編集:アリソン・グラント(コミュニケーション・マネージャー)

デザイン:マイケル・ジョンソン(グラフィック・デザイナー)

2023年11月発行

本出版物の著作権は国際協同組合保険連合(ICMIF)に帰属します。本出版物のいかなる部分も、発行者の書面による事前の許可なしに、コピー、記録、または情報保存および検索システムなどの、電子的または機械的ないかなる形式または手段によっても複製または送信することはできません。

著作権 © 国際協同組合保険連合(ICMIF)2023年

詳細は以下をご覧ください。

[www.icmif.org](http://www.icmif.org)

X(旧Twitter)でフォローする

[@ICMIF\\_Web](https://twitter.com/ICMIF_Web)

ICMIF, Denzell House, Dunham Road, Bowdon, Cheshire, WA14 4QE, UK

Tel: +44 161 929 5090

国際協同組合保険連合(ICMIF)は、世界中の会員団体に競争優位性をもたらすために活動するベストプラクティス重視の団体です。ICMIFは戦略および最新のマーケット情報を共有し、会員である協同組合／相互扶助の保険組織の成長を支援します。